R8大豆農事メモ（号外）

令和８年７月２３日
白山営農推進協議会
ＪＡ　松　任
JA白山（蝶屋地区版）

- 開花期～子実肥大期は、大豆の収量や品質を左右する重要な時期です。
- 干ばつによる落花・落莢を防ぐため、積極的に**うね間かん水**を行いましょう。

Ⅰ　実施時期

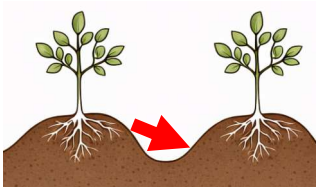
開花期（７月下旬）**～幼莢期**（８月上中旬）～ **子実肥大期**（８月下旬～9月末）まで

Ⅱ　かん水のタイミング・具体的な方法（一例）

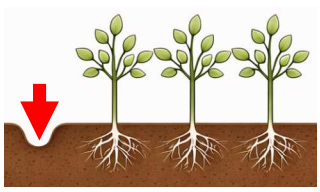
STEP1	STEP2	STEP3	STEP4
あらかじめ**排水溝と排水口をつなぎ、掘り下げておく**	晴天日が３～５日以上続いたら入水する（ただし、排水不良田は**土の乾燥状態を確認**する）	乾いていたら、止水板を設置し、朝夕の涼しい時間帯に入水する	畝間に水が行きわたったら、**ただちに止水板を外して落水**する（畝の間の土が湿れば良く、畝上までの湛水は基本的に不要）

土を掘ってみて、湿り気を確認しましょう

（掘る場所の一例）



畦立は
うねの側面下部



狭畦は
排水溝の底面

熱中症にはご注意を！

大豆の防除時は
農作業安全にも
留意してください

Ⅲ　注意事項

①過湿（根腐れ）に注意
　涼しい時間帯に**走り水で実施し、ただちに落水**
②培土※直後は避ける：数日あけるとよい
③除草剤散布※の前後は避ける
　茎葉処理剤は乾燥状態で施用する
　散布後は土が乾いてから（数時間から１日後）かん水する

※培土・除草剤（大豆バサ）散布は開花期に入る前に終わらせましょう